





Common  
Sense

8月17日版

メール  
マガジン

# 国際派日本人養成講座

日本の誇る英語の達人

明治日本には見事な英語で日本を語つた達人たちがいた。

## 1. 「世界に影響を与えた日本人の英語」

英語で禅を広めた鈴木大拙(明治3~1870年)

昭和41(1966)年の晩年の英語による講演

東京大学教授は、次のように感想を記している。

その英語を聴いてみると、晩年ということもあ

り、内容的な密度は驚異に値する。おそらく、その

まま書き起こしても、立派に禅の入門書になるであ

る。これが世界に影響を与えた日本人の英語な

どある。

大拙は若い時分からの英語修行、仏典の英訳、

英語での仏教書の執筆を通じ、書き言葉のように

正確に話し言葉操る技を身につけた。放送大学の

英語番組の取材に応じてくれたアメリカ人の禅僧によれば、大拙ほど高度な英語操ることのできる

人は毎話者のなかにもそう多くはないという。

【1. 10頁】

【英語下手】は、多くの日本人が抱く劣等感である。それは英語の発音が日本語よりもはるかにと

いうより、世界の言語の中でもかなり複雑であり、さらに日本語とは文法の共通性がほとんどない、という、日本人にとってはきわめて敷居の高い言語だからである。

また日本は、日本語だけで大学での専門分野も勉強できるし、世界の名作やベストセラーを読めてしまう、という国際社会でも珍しい教養大国である。だから国内に住む人々には、英語はほとんど必要ない、という要因もある。

ただ、グローバル化の中で、商談や学問的な議論など英語を使わなければならぬ人々は増えている。そういう人々にとっては、大拙までいかなくとも、【日本語なまりも強く、けつして流暢ではない】が、自分の考え方を正確に表現しうる英語を目指すべきであろう。

我々の先達の中には、大拙のような英語の達人が何人もいたのである。それらの達人を紹介しながら、そのレベルに少しでも近づくにはどうしたら良いか、考えてみたい。

## 2. 新渡戸稲造の「Bushido」



鈴木大拙(同ドキュメンタリー・プロジェクトのサイトより)

新渡戸の英語がもっとも実務的な力を發揮したのは、彼が国際連盟事務局次長を務めた1920年代前半である。それは彼が、あまり演説の得意でなかった英國人子弟などに対しては「破調の語学で和服を着て歩く」と注意している。

新渡戸の英語がもっとも実務的な力を發揮したのは、彼が国際連盟事務局次長を務めた1920年代前半である。

それは彼が、あまり演説の得意でなかった英國人子弟などに対しては「破調の語学で和服を着て歩く」と注意している。

新渡戸の英語がもっとも実務的な力を發揮したのは、彼が国際連盟事務局次長を務めた1920年代前半である。

それは彼が、あまり演説の得意でなかった英國人子弟などに対しては「破調の語学で和服を着て歩く





兵庫県人会

# モジお茶屋敷、果樹園へ ピクニックで親睦深める



カザロン・ド・シャーを背に記念写真

ロン・ド・シャー、蘭

園オリエンタル訪問に

県人會員ら42人が参加

した。

今回のピクニックは、

留学生O.B.の若手役員が

企画した。当日は前日か

ら降り続いている雨も、

目的地に到着する頃には

止み、果樹園で枇杷、ア

モヤ等の新鮮な果物

ケイキ、果実ジュース等

の朝食を楽しんだ。

50

年間にわたり富有柿、

枇杷、アモヤ等を栽培

し、数々の賞を得ている

歴史の説明がなされ、

園内を見学した。

その後力ザロン・ド・

シャーへ行き、釣を使わ

ないはめ込み式の木造

建築の元製茶工場を

見学。美術、歴史

考古学的価値等が認めら

れ、82年、86年にそ

創立42年ともなるの

カンピーナス

和氣あいあいと敬老会

元副会長橋本秋広氏から贈り物

モジ・カバンビーナス日伯文化

老人部「明治会」(沖

純一会长)が、9月25

午前10時から老人

慰安婦老会を開催した。

松岡家も

益々のご发展と、全世界

御身大切に子孫々の

記念写真を撮

りましよう。現像してお

贈ります」という善意

により敬老会当日、35

また文協役員も「ま

だまだ若者に引けは取ら

×50センチの大額縁

入り写真が貰全員に贈

られた。

毎月集会に欠かさず

由り、頼もしくも有り、

嬉しい限りです」と

感嘆の声。

ミニ運動会で

玉入れ、輪投げ、魚釣り

写真には欠席者の顔写真

が和気あいあいとした

その後力ザロン・ド・

シャーで樂しません。

会長の真心のこもった

食事が用意され、会員の

9割にあたる約140人

が和気あいあいとした

玉入れ、輪投げ、魚釣り

写真には欠席者の顔写真

が和気あいあいとした

玉入れ、輪投げ、魚釣り



